

次期中間処理施設整備事業「地域振興策」に関する意見等

印西地区環境整備事業組合
次期中間処理施設整備事業
地域振興策検討委員会 委員長 福川 裕一 宛て

意見

平成 27年 8月 29日提出

委員名 大谷芳末

別添『よしだスコーラご提案』ご参照下さい。

『よしだスコーラ』ご提案



大谷芳末

平成27年8月30日

提案の目的



- 振興策中核の『道の駅』案にもうひとつの仕掛けを仕込む。
- 通常の『道の駅』を超える先進的進化機能を追加する。
- 追加機能は学校（スコーラ）の環境を創出する。
- 学習内容は環境学習に加え、農業振興内容を充実する。
- これにより話題性と差別化を強化する。

背景



- 里地里山保全と農業振興は密接な関係がある。
- 里地里山の集客効果は検討委員、吉田区住民とも懐疑的と考える人々が少なからず。
- 吉田区現在農業産品に特筆する物は見当たらず、3市町広域の産品を対象にブランド化・開発を考えた方が良い。
- 吉田区職業構造は9割が農業以外の職業で生計維持。農業振興の課題は吉田区に限らず、3市町共通の課題。
- 農業振興の課題は大変重く、長期に渡る合意形成、人材育成、技術革新が伴う。
- 里地里山の修景保存も同様に、長期に渡る啓蒙、合意形成、事業スキーム確立が伴う。
- とても1年で方向性を見いだすことは困難なテーマである。
- よって、これらの課題を次世代に向けて考える環境学習、農業振興学習の場とし、教育に投資することが現実的と考える。

よしだスコーラのソフト(案)



- モール内の植物工場化（水耕栽培）
- 現状農家の課題を知ってもらうコース。
- 援農希望者（農家・市民とも）の組織化の方法論。
- 援農者の農業技術研修。
- これからの農業の向かうべき方向の提案。
- 新しい発想と知識を持つ人材育成。
- 援農隊予備軍、新規就農予備軍のファンづくり。
- 植物工場ビジネスのコンサルティングサービス。
- 学校や公共施設内に植物工場・水耕栽培を設置・運営するとともに、農業だけでなく環境など複合的な体験学習が可能なプログラムを提供。
- 強い農業経営者（食、農業、経営、人材マネジメント、マーケティングなどのMBA）人材育成を計る。

モール内植物工場化（案）



年間を通じて様々な花が植えられます。天候に関係なく育ち、一年中、美しい花をお楽しみいただけます。



エントランスには約90㎡の広さの水田があり、メタルハライドランプと高圧ナトリウムランプで成長を促進し、年3回収穫可能です。

- 「パソナグループアーバンファーム」は、都心の真ん中で農業を体験できる施設です。パソナグループでは、自然共生オフィスの設置だけでなく、さまざまな農業研修を通して農業分野での雇用創出に取り組んでいます。

「のじまスコーラ」のご紹介



- ①「農産物生産」特産品のたまねぎ・キャベツをはじめとした、少量多品目含む年間20種以上の作物を栽培
- ②「加工品製造」バジルを軸としたドレッシング・ペースト・バーニャカウダ、その他新商品開発
- ③「販売」チャレンジファーム直送便等
- ④「農業体験・教育学習」
- ⑤「研修」農業人材育成研修
- ⑥「その他」収穫作業受託等、地域への農業人材不足問題を解決する取組み等



- 地域交流と地域振興を目指し、いつまでも地域住民の集う場所であり続けることを願って「のじまスコーラ」名付けられました。「農・食・学・芸」をテーマとした、6次産業化の拠点

援農隊育成カリキュラムモデル例 (初心者編)



No	分野	テーマ	内容	時間	ねらい
1	農業・援農について	日本の農業について	日本の農業をとりまく状況・課題等について	0.5	農業界全体について知り問題意識を高める
2		地域の農業について	地域の農業をとりまく状況・課題等について	0.5	地域農業について理解を深める
3		援農について	援農の必要性、援農という働き方について	0.5	援農の必要性・効果について理解をする
4	農家・道具について	農家・作物について	農家や作物について	0.5	援農に入る農家の特性や作物の特色について理解を深める
5		道具・機械について	援農に使う道具・機械について	0.5	道具・機関の基本的な知識をみにつける
6		資材・肥料・農薬等について	援農に関わる資材・肥料・農薬について	0.5	資材・肥料・農薬について基本的な知識を身につける
7		農業の用語・単位について	農業で使われる用語・単位について	0.25	農家特有の用語・単位について知る
8	援農の働き方について	指示の受け方について	農家とのコミュニケーション、報告・連絡・相談について	0.25	農家とのコミュニケーションのポイント・注意点について知る
9		作業の仕方について	体の使い方、ペース配分について	0.25	仕事として継続するために安全な体の使い方・ペース配分のポイントを知る
10		安全管理について	援農における安全管理について	0.5	安全管理の重要性を理解する
11		労務管理について	援農における勤務管理・時間管理について	0.25	勤務管理・時間管理の方法について説明する
12	現場研修	現場研修	道具・機械の使い方、体の使い方、作物の扱い方、安全確保の仕方	2.5	上記、座学研修のポイントを現場(農場)で実践し体験して学ぶ
計				7	

先進集客施設視察先候補 1

アーバンファーム



アーバンファーム見学(30分程度)

農業関連研修(90分程度)

東京都千代田区大手町2-6-4



<講座テーマ>

案A：植物工場の今（入門編）レディーメイド

植物工場のタイプと養液栽培、その歴史など、この講座で植物工場の仕組みや最新の実例を学ぶ。最近話題の植物工場とは？どんなメリットがあるの？そう思われた方必見！

案B：吉田区スペシャル（研修は、要望に沿いオーダーメイドできる）

排熱最大限有効活用と吉田区の実情に合わせた地域振興、農業振興をセットに考えて見る。

視察先候補 2

農林水産省 植物工場 千葉大学拠点



講義付き見学コース

植物工場見学に講義が付いたコースです。見学は太陽光型、人工光型、選果・出荷施設等を一巡します。見学の前後に資料を配布し、講義を行います。

※所要時間：1時間30分～2時間程度

※受付人数：各回40名まで

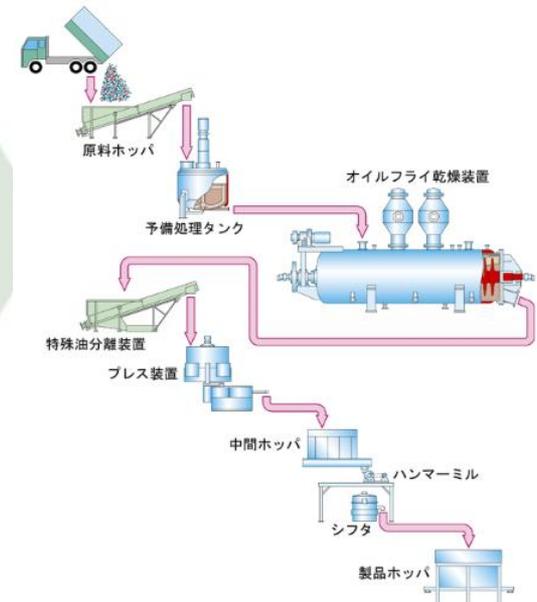
※講師：千葉大学名誉教授、千葉大学教授



視察先候補 3 城南島飼料化センター



- 株式会社アルフォ
- 東京都大田区城南島3-3-2
- 資本金4.5億円
- 営業種目：配合飼料原料の製造
- 受け入れ企業：金融機関、商業施設、各学校給食等、約1,000ヶ所
- 納入先：日本配合飼料
- 処理能力：168t/日
- 飼肥料製造量：30t/日



(株)アルフォ城南島飼料化センターは
「東京スーパーエコタウン事業」
の選定を受けた施設です



視察先候補 4 齊藤農園（船橋市）



- 高度自動化ミツバ栽培
- 光や温度を完全制御する、独自に開発した自動化ラインなどによって「ミツバの18期作」を実現
- 2000坪の温室でミツバを水耕栽培している。1日当たりの出荷量は700～800ケース。

視察先推薦理由



- 先進的な集客施設（農業振興・教育機関を兼ねるスコーラ）とし、六次産業化を考える。
- 三市町に先進モデルケース（ショールーム、体験講習、各種講座、コンサル）を提供できる。
- 長い目で農業振興・環境保全の人材育成を計れる。
- 排熱を最大限利用する。
- 高い収益性に結びつけることが期待できる。